



2024年04月 現在

PowerReplication V4.0 L12

PowerReplicationは、PRIMERGY 6000またはPRIMEQUESTで動作するASPのデータベース (Symfoware6000) とWindowsサーバで動作する他社製データベース (SQL Server, Oracle) との間でデータ連携するための商品です。

本商品を導入することで、異機種間で複写したデータファイルの同期をとることができ、データベースへの更新データを異なるサーバ上の異なるデータベースに自動的に反映できます。

本商品は、PowerReplication V2.0/V3.0の後継商品です。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ レプリケーションマネージャ (Windowsクライアント)

FMV

- **サーバ**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit) / Windows Server 2008 R2(64-bit) / Windows Server 2008(64-bit) / Windows Server 2008 / Windows Server 2003 x64 Editions / Windows Server 2003

- **レプリケーションマネージャ (Windowsクライアント)**

Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows 8(64-bit) / Windows 8 / Windows 7(64-bit) / Windows 7 / Windows Vista

1. 特長/機能

- (1) 通信処理を行うアプリケーションを作成することなく、Symfoware6000とSQL ServerやOracleとの間の分散ネットワーク環境を容易に構築できます。
- (2) 複製ファイル間のデータを同期する際、更新データの差分情報のみを送信するため、ファイル転送やリモートデータへのアクセスに比べて、ネットワークトラフィックを最小限にできます。
- (3) 更新されたデータの反映処理は非同期に実行されるため、ローカルのデータベースにアクセスした場合と同等のレスポンスが得られます。
- (4) 複製先のサーバが停止している状態でも運用継続が可能です。複製先のサーバが復旧した後、更新データの反映を再開できます。
- (5) データ反映の実施時期や間隔を自由に定義できます。ネットワーク環境に応じてスケジューリングすることにより、ネットワークトラフィックを制御できます。
- (6) 複製ファイルを双方向で更新することが可能です。同一データが双方から更新された場合に、優先する反映方向を設定できます。
- (7) 専用のGUIツールであるレプリケーションマネージャにより、レプリケーションの定義や状態監視を行うことができます。

2. 利用分野/適用分野

- (1) 既に構築された基幹業務(COBOL アプリケーション等)の運用を変更せずに、情報系業務のみを新規に追加して基幹業務のデータを活用することができます。
- (2) SQL Server, Oracleとデータ連携することで、Windowsのパッケージを導入して、既存の基幹業務と連携するシステム運用も容易に構築できます。
- (3) リモートファイルアクセスで業務構築する運用と比較して、ネットワーク負荷の分散化、低減でき、更にアプリケーションのレスポンスを向上させることができます。
- (4) 遠隔地の業務データの集約や、相互にデータ交換するリモート分散システム環境なども、GUIツールを使用して短期間で構築できます。
- (5) ファイルの複製を遠隔地のサーバに作成することで、データバックアップ作業を自動化できます。

3. レプリケーション連携が可能な製品

レプリケーション連携が可能な製品は以下のとおりです。

(1) Windows製品

- ・ Oracle Database R10.2.0/R11.1.0/R11.2.0/R12.1.0/R12.2.0/18c/19c

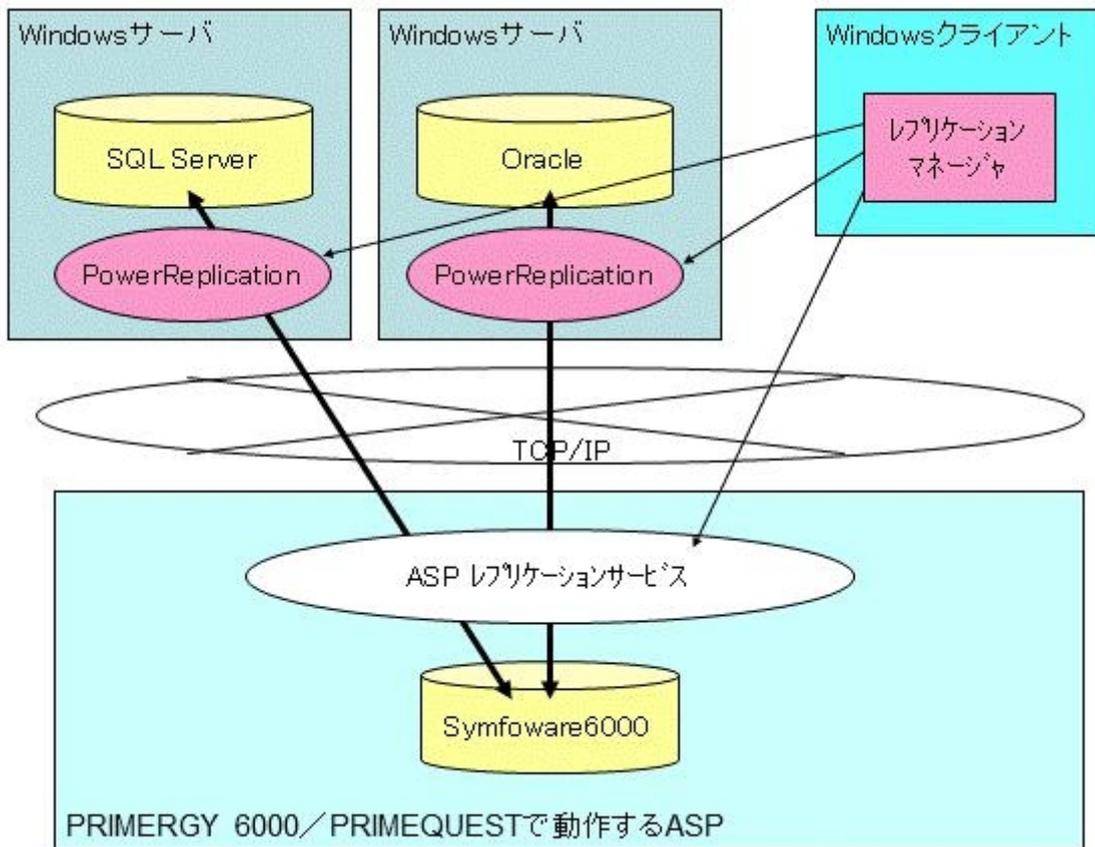
注)Oracle Database 18c以降を使用する場合は、本製品の緊急修正T013606WP-02を適用する必要があります。

- ・ SQL Server 2005/2008/2008 R2/2012/2014/2016/2017/2019

注) SQL Server 2016以降を使用する場合は、本製品の緊急修正T013606WP-01を適用する必要があります。

(2) PRIMERGY 6000製品

- ・ Symfoware6000
- ・ レプリケーションサービス



V4.0L11からV4.0L12の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. レプリケーション対象データベースの追加

レプリケーション対象データベースとして、以下を追加しました。

- Oracle Database R12.1.0/R12.2.0/18c/19c
- SQL Server 2012/2014/2016/2017/2019

2. レプリケーションマネージャのWindowsクライアントへのインストール

レプリケーションマネージャの対象Windowsクライアントに以下を追加しました。

- Windows(R) 8.1 Enterprise
- Windows(R) 8.1 Pro
- Windows(R) 8.1
- Windows(R) 8.1 Enterprise (64-bit)
- Windows(R) 8.1 Pro (64-bit)
- Windows(R) 8.1 (64-bit)

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ PowerReplicationユーザーズガイド
-

- ・ その他の添付品

- ・

商品体系

- PowerReplication V4.0 L12
- PowerReplication バージョンアップキット V4.0 L12

購入方法

1. 本体の購入方法

本商品は、本商品をインストールするWindowsサーバ毎に1本購入してください。複数のWindowsサーバに適用する場合は、その台数分、購入してください。

本商品に添付されている「レプリケーションマネージャ（Windowsクライアント）」は、Windowsクライアントに対してインストールフリーです。

2. バージョンアップ時の購入方法

以下の商品を購入することにより本商品へのバージョンアップが可能です。

本商品へのバージョンアップ方法

バージョンアップ対象商品	バージョンアップ時に購入する商品	購入可能本数
PowerReplication V2.0 PowerReplication V3.0 PowerReplication バージョンアップキット V3.0	PowerReplication バージョンアップキット V4.0	対象商品保有数分、購入が可能です。

3. V4.0の旧レベルからのレベルアップについて

V4.0の旧レベル（L10、L11）からのレベルアップする場合は、PowerReplication V4.0 L12を購入します。

関連ソフト

なし。

なし

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2003 x64 Editions
- Windows Server 2008(64-bit)
- Windows Server 2008 R2(64-bit)
- Windows Server 2012(64-bit)
- Windows Server 2012 R2(64-bit)
- Windows Server 2016(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品のレプリケーションマネージャ (Windowsクライアント) は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows(R) 7 Professional (64-bit)
- Windows(R) 7 Enterprise (64-bit)
- Windows(R) 7 Ultimate (64-bit)
- Windows(R) 7 Home Premium (64-bit)
- Windows(R) 8 Enterprise (64-bit)
- Windows(R) 8 Pro (64-bit)
- Windows(R) 8 (64-bit)
- Windows(R) 8.1 Enterprise (64-bit)
- Windows(R) 8.1 Pro (64-bit)
- Windows(R) 8.1 (64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. 対象OS/データベースのサポート範囲変更

V3.0でサポートしていた以下のOSとデータベースは、本商品ではサポート対象外です。

[OS]

- ・ Windows 2000 Server
- ・ Windows 2000 Advanced Server

[データベース]

- ・ Oracle Database R9.1.0/R9.2.0/R10.1.0
- ・ SQL Server 2000
- ・ PowerRW+ V2.0/V2.1

V4.0L12からレプリケーションマネージャ (Windowsクライアント) は、Windows XPをサポート対象外とします。

4. サポートするOSとデータベースの組合せ

本商品を導入するサーバで動作保証するOSとデータベースの組合せを以下に示します。

使用するデータベース			PowerReplication V4.0の導入OS						
			Windows Server						
			2003/2003 R2		2008		2008 R2	2012	2012 R2
			32bit	64bit	32bit	64bit	64bit	64bit	64bit
SQL Server	2005	32bit	○	×	○	×	×	-	-
		64bit	-	○	-	○	○	-	-
	2008	32bit	○	×	○	×	×	×	×
		64bit	-	○	-	○	○	○	○
	2008 R2	32bit	○	×	○	×	×	×	×
		64bit	-	○	-	○	○	○	○
	2012	32bit	-	-	○	×	×	×	×
		64bit	-	-	-	○	○	○	○
2014	32bit	-	-	○	×	×	×	×	
	64bit	-	-	-	○	○	○	○	
Oracle Database	10g R2	32bit	○	-	○	-	-	-	-
		64bit	-	○	-	○	○	-	-
	11g R1	32bit	○	-	○	×	-	-	-
		64bit	-	○	-	○	-	-	-
	11g R2	32bit	○	×	○	×	×	×	×
		64bit	-	○	-	○	○	○	○
	12c R1	64bit	-	-	-	○	○	○	○

○:利用可

×:利用不可

-:組合せなし

5. 連携先がSymfoware6000の場合の注意事項

(1) 関連ソフトについて

ASP V25以降のシステムと連携し、ASPレプリケーションサービスが動作するときの文字コードにシフトJISを設定した場合、PowerReplicationをインストールするサーバには、以下のいずれかの文字コード変換製品が必要です。

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition V7, V8, V9
- ・ JEF拡張漢字サポート V4.1L55/V7.1L20以降

連携相手がASP V25以降の場合、ASPレプリケーションサービスが動作するときの文字コードにUnicodeを設定すると、上記の文字コード変換製品は不要です。

また、レプリケーションマネージャをインストールするクライアントには、上記の文字コード変換製品は不要です。

(2) ASPのサポートバージョンについて

保守が終了したASPのバージョンは、PowerReplicationでもサポート対象外になります。

- ・ ASP V24 : 2013年11月末保守終了済み
- ・ ASP V23 : 2012年12月末保守終了済み

事前に、連携するASPのサポートバージョンを確認してください。

(3) ASPへの定期修正の適用について

連携相手のASPがV25の場合、定期修正U09031の実施が必要です。

(4) レプリケーションマネージャのバージョンについて

最新版のレプリケーションマネージャを使用してください。

ASPに標準添付されている「ASP PCクライアント」のレプリケーションマネージャを使用する場合、より新しいバージョンを使用してください。

「PowerReplication V4.0」をインストールしたサーバに接続する場合、本商品のレプリケーションマネージャ (V5.3L10)、またはASP V28以降の「ASP PCクライアント」のレプリケーションマネージャを使用してください。

V5.3L10よりも古いバージョンのレプリケーションマネージャを使用した場合、動作保証されません。
Windows10で使用する場合、ASP V28以降の「ASP PCクライアント」のレプリケーションマネージャを使用してください。

6. PowerReplication旧版からの移行について

V4.0L10以前のPowerReplicationから本商品に移行する場合、レプリケーションの構成定義を再定義しないと、同期実行でアプリケーションエラーが発生する場合があります。必ず、旧版のPowerReplicationが導入された環境で構成定義をエクスポートしておき、本商品をインストールした後に、構成定義をインポートしてください。構成定義をインポートすることで、構成定義は再定義されます。

7. ODBCドライバについて

ODBCドライバは複数ありますので注意が必要です。以下のドライバを使用するようにしてください。

- SQL Serverの場合、SQL Server Native ClientとなっているODBCドライバ
- Oracleの場合、Oracle社から提供されているODBCドライバ

8. 他製品との混在インストールについて

PowerReplicationをインストールするサーバには、以下の製品を混在してインストールできません。

- PowerRW+ レプリケーションオプション V1.0
- PowerReplication V2.0
- PowerReplication V3.0
- 本製品に添付されているレプリケーションマネージャ（Windowsクライアント）
- ASPに標準添付されている「ASP PCクライアント」のレプリケーションマネージャ（ASPクライアント）

レプリケーションマネージャをインストールするクライアントには、以下の製品を混在してインストールできません。

- ASPに標準添付されている「ASP PCクライアント」のレプリケーションマネージャ（ASPクライアント）

9. 製品間のレプリケーションについて

以下の製品間のレプリケーションを行うことはできません。

- SQL Server とOracle間のレプリケーション
- SQL ServerとSQL Server間のレプリケーション
- OracleとOracle間のレプリケーション

10. Active Directoryへの対応について

PowerReplicationは、Active Directoryに参加しているシステムでは、Active Directoryの以下の機能に対応できません。

(1) シングルサインオン未対応

ドメインにログインしていても、PowerReplicationのレプリケーションマネージャおよび、構成定義の移出入機能を使用するときには、別途、ログインが必要です。

(2) アカウントポリシー適用不可

レプリケーションの同期を実行させるためのユーザには、アカウントポリシー（パスワードの有効期限）を設定して運用できません。

(3) IPセキュリティポリシー適用不可

PRIMERGY 6000/PRIMEQUESTで動作するASPと連携する場合、IPセキュリティポリシーを適用して運用できません。

(4) 複数のドメイン間で連携不可

Active Directoryで構築した異なるドメイン間で連携して運用できません。

お客様向けURL

- ・ **富士通ソフトウェア情報 (PowerReplication)**

製品の詳細情報(機能、特長、カタログ、導入事例、動作環境、技術情報など)を提供しています。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/middleware/powerrep/>

- ・ **富士通ソフトウェア情報 (ソフトウェア製品のご利用にあたって)**

価格/型名の一覧(システム構成図)、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/>